

遺言では実現できない新たな相続対策シリーズ②③

～復習編～

認知症対策として成年後見制度があるって聞いたけど…?

認知症対策として考えられる成年後見制度等について、4月号の続きです。

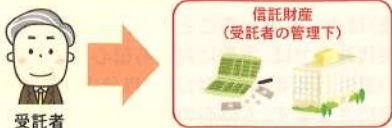
①成年後見制度（認知症後の対応方法）、②任意後見制度（認知症前の対策）、③家族信託（認知症前の対策）

③家族信託（認知症前の対策）

財産を持っている人が元気なときに、信頼できる相手に自分の財産の管理や処分をする権限を託す。

ご本人がお元気な時に信託契約を締結しておくことで、任せた人（委託者）が病気や事故、認知症等で判断能力を喪失しても、託された人（受託者）が影響を受けずに、財産管理や相続税対策を継続できます。また、遺言と同じように資産の承継先も決めることもできます。

③家族信託（認知症となる前の対策）



今回は、4月27日からスタートした「相続土地国庫帰属制度」について解説していきます。

やまびこグループ 司法書士/行政書士/相続資産コンサルタント 進藤 裕介

備えて安心!! ドリーマー会員制度(互助会積立金)

「家族葬」「一般葬」はご葬儀にどの範囲までの方にお声がけするかの違いであり、どちらも葬儀に必要な基本的な部分の費用は変わりません。ドリーマーでは葬儀で基本的に必要な部分を前もって積み立てるドリーマー会員をご案内しています。

事前に積み立てて準備することで、いざという時、残された遺族にかかる費用面での負担や不安が少しでも解消されるからです。今はまだ元気だし縁起でもないから、とついつい考えてしまいますが、やはり何事も事前の準備が大切です。ほんのちょっと、今から準備しておくことで、いざという時の費用や不安の大きさも全然違ってきます。少し考えてみようかな、という方はいつでもご連絡なくご相談ください!

お問い合わせ先
フリーコール：0120-44-5880

あとがき

この時期の天気予報で「梅雨の走り」という言葉を耳にしたことはありませんか。「走り」には「先駆け」という意味があります。季節の初めに出てくる食べ物のことを「走りもの」というのと同じです。「梅雨の走り」とは、梅雨入りよりも早い5月中旬から6月上旬にかけて梅雨を思わせるようなぐずついた天気が続くことを指す言葉なのです。同じ時期の長雨のことを「卯の花腐し（うのはなくたし）」と表現することもあります。卯の花が咲く時期に雨が長く降ると卯の花を腐らせてしまうのでは、ということから生まれた言葉だそうです。短い言葉の中で、季節ならではの事柄や、その風景や心情を表すことができる日本語は素敵な言語ですね。皆様も日常にある素敵な言葉を探してみませんか。



出口秀美

スタッフコラム

丁寧語
謙譲語
尊敬語



ドリーマーに入社して、月に一度部署内での研修や、外部の講師をお招きして葬儀のことだけではなくマナー研修など学ぶ機会に恵まれることが多くなりました。今回は、コミュニケーション力を高めるためのマナー研修を先日受講する機会がありましたので、一部分ではありますがお話ししたいと思います。

コミュニケーションを図るうえで、敬語の正しい使い方と知識を身に付けることは非常に大切なことで、礼儀の会話の基礎となっています。一例を挙げると、「言う」の敬語は、尊敬語では「言われる・おっしゃる」、謙譲語では「申す・申し上げる」、丁寧語だと「言います」になります。「食べる」の敬語は、尊敬語では「召し上がる」、謙譲語では「いただく」、丁寧語だと「食べます」になります。「見る」の尊敬語は「ご覧になる」、謙譲語は「拝見する」、丁寧語だと「見ます」になります。場面や人間関係などに合わせて使い分けが求められます。敬語は相手の人への敬意を伝えるための言葉です。

言葉づかいを丁寧にすると、自分も相手もお互いの印象が良くなります。また、「恐れ入ります」「～だと幸いです」等、ワンランク上の品のある言葉を使いこなせると良いです。「恐れ入ります」は謙遜していると思われる言葉ですが、嬉しいや有難いといった感謝の気持ちを表現する言葉です。褒められた時などに「有難うございます」ではなく「恐れ入ります」を使うことで言葉づかいが綺麗な人だと感じてくれるでしょう。

人に何かを尋ねる時、「ちょっといいですか?」と言うより、「少しお時間宜しいでしょうか?」と言う方が相手の人は心地よくなります。「どっちにしますか?」と言うより「どちらにいたしますか?」など相手を敬う気持ちが感じられる言葉を使いたいものです。「今日は」を「本日は」に、「どうですか?」を「いかがでしょうか」に言い換えるだけで感じの良い伝え方になり、コミュニケーションを良好にしていくことが出来ます。

敬語を使い丁寧に会話することは、心くばりの際の基本中の基本です。丁寧語の「～です、～ます」で話すことは当然として、より美しく相手を敬う言葉を使うことで好印象が高まります。

言葉づかいは心づかいと言うことを、常日頃から頭に置き、思いやりのある言葉を自然な感じで言えるように習慣化していきたいものです。



能瀬公嘉

人生時計に置き換えてみる



一生を一日に置き換えてみる人生時計には、さまざまな計算方法が存在しています。例えば、平均寿命が82歳の日本人男性の一生を24時間の時計に例える方法だと、1時間で3.4歳ずつ年齢を重ねていく計算となります。年齢を時間に例えるなら、中学生なら4時台の夜明け前で、将来は無数の可能性が開けています。20歳は6時で、人生の扉が開いたばかり。30歳は9時で人生のこれからが本番です。40歳は正午となり、これから自分の道を歩む時。65歳は夜の7時で、太陽は沈んでいるがこれからの人生に何を残していくかを考える時。24時(夜中の12時)を過ぎる年齢の方も当然いらっしゃいますが悲観する必要はなく、人より長く1日が楽しめている。夜更かしして起きていても構わない、これから人生をどう楽しむか…。そのような考え方で、今まで生きてきた足跡や大切なこれからの人生設計をどうしていくか、という指標として考えられてはいいかがでしょうか。

人生の中で異なってくるのは個々の寿命であることは勿論のことですが、どのように生きられたかの中身については、自分自身の現状を客観的に理解し、周りの価値観や流行、「他人の評価を気にせず、自分らしくどうありたいか」という考えに沿って、どれだけ行動ができたか。自分の良いところも悪いところも受け入れ、向上心と感謝の念をもって生きてこられたかによって人生充実度には結構な違いがでるものと思います。

『人は必ず死ぬから、いのちのバトンタッチがあるのです。死に臨んで先住く人が「ありがとう」と言えば、残る人が「ありがとう」と応える、そんな一瞬のバトンタッチがあるのです。死から目を背けている人は見そこなうかもしれないが、そんな命のバトンタッチがあるのです。』映画『おくりびと』のモデルと言われる作家さんが生前に残した詩です。葬祭業に従事する立場として、この言葉の中に秘められた意味『命の重さと尊さ』とは何であるかを考え、人と人が繋がるということの温かさや、有難さの意味を伝えていくことが出来ればと思っています。

ドリーマーの葬儀費用

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

お問い合わせ
資料請求
フリーダイヤル
0120-44-5880
365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!